

人間文化研究機構国立国語研究所
共同利用型共同研究(研究経費支援型)公募要項

1. 趣旨・目的

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所(以下「国語研」とします。)は、日本語学、言語学及び日本語教育に関する国際的研究拠点として、日本語が持つ特質と多様性を多角的に解明し、新たな研究領域を創出するため、国内外の大学等研究機関と連携して、全国的・国際的な共同研究を展開することを使命としています。

使命を達成する一環として、日本語学、言語学及び日本語教育に関する研究の進展を図るために「共同利用型共同研究(研究経費支援型)」を公募します。

「共同利用型共同研究(研究経費支援型)」に採択された研究課題においては、国語研が保有する研究資料・言語資源・分析装置等(以下「研究資料等」とします。)が利用でき、コーディネータとなる国語研の専任研究者(研究教育職員)から研究のための助言を受けることができます。

また、その際必要となる旅費や当該共同研究に必要な消耗品費の研究経費を支援します。

2. 利用できる研究資料等

国語研が保有する研究資料等の全てを対象とします(別紙参照)。

ただし、資料等の状況により、利用に制限があるものや利用が不可能なものがありますので、申請前にコーディネータ候補者となる国語研の専任研究者を通じて利用が可能な状況であるかを確認してください。

利用する資料を確認するため、資料番号や資料群 ID も記載してください。

3. 申請資格

次のいずれかに該当する方が申請できます。なお、国語研に所属する研究者は申請できません。

- (1) 日本国内の高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校等)や研究機関に所属する研究者(常勤・非常勤を問わない)
- (2) これらの者と同等の研究能力があり、研究資料等の利用において支障がないと国語研が認めた日本国内に居住する者

4. 研究組織

(1) 研究代表者(申請者)

研究代表者のみの研究(個人研究)も申請できます。

(2) 共同研究者

必要がある場合、共同研究者を加え、共同研究を組織することを可能とします。共同研究者の資格は「3. 申請資格」と同じとしますが、**に加えて、博士後期課程学生及び、日本国外の高等教育機関や研究機関に所属する研究者(常勤・非常勤を問わない)とします。**

また、国語研に所属する研究者も可能とします。

(3) 研究協力者

必要がある場合、研究代表者または共同研究者が指導する修士課程(博士前期課程)の学生を、研究協力者として研究に参加させることができます。

5. 研究期間

令和 9 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日

＊消耗品等にかかる経費の執行は令和 10 年 2 月上旬頃までを予定しています

＊研究期間を延長することはできません。

6. 研究経費

最大 20 万円まで

研究資料等の利用や当該共同研究に関する打合せ、公開ワークショップの準備や開催等に必要な内国旅費、当該共同研究に必要な消耗品に限るものとし、研究代表者からの申請に基づき国語研において執行します(所属機関への配分ではありません)。

7. 課題選定方法・選定基準等

(1)課題選定方法

国語研所長が選定した審査委員(外部有識者2名、国語研教員1名)により書面審査を行い、国語研の会議において決定します(ヒアリングは行いません)。

(2)課題選定基準

- ① 「研究目的・意義」、「研究計画・方法」、「期待される研究成果」の面で妥当性、必要性、新規性があるかどうか。
- ② 研究終了後も当該研究成果を生かした更なる学術上の発展が期待できるかどうか。あるいは具体的な社会還元が期待されるかどうか。
- ③ 研究代表者が、研究を実施するために必要な能力を有しているか。

(3)選定スケジュール

令和 8 年	8 月 : 応募受付開始
	11 月 : 応募受付締切
	12 月 : 書面審査
令和 9 年	1 月 : 採択結果通知
	4 月 : 研究開始

8. 報告

(1)研究実績報告書

研究実績報告書(A4 判1～2枚程度)を提出していただきます。

(2)研究業績報告書

研究期間終了後に、共同利用型共同研究による研究業績について、研究業績報告書(Excel ファイル)の提出をお願いします。

(3)その他

研究期間中及び終了後に、国語研のイベントや刊行物等における発表や執筆をお願いすることがあります。

9. 研究成果の発信

(1)「共同利用型共同研究」の明示

研究成果として、国内外の専門誌・学術誌への論文投稿や論文集の刊行等に繋がることを期待します。研究成果を公開・刊行・発表する場合には、国立国語研究所「共同利用型共同研究」の成果であることを明示してください。

(2)その他

研究期間中及び終了後に研究成果について情報収集を行うことがありますので、その際にはご協力をお願いします。

10. 申請方法・期間等

(1)申請方法等

国語研ウェブサイトより申請書類をダウンロードし、電子メールで送付してください。

※電子メールの題名は「共同利用型共同研究(研究経費支援型)申請」と記載してください。

(2)申請書類 (①は Word 形式・PDF 形式、②は PDF 形式ファイルでご提出ください)

①国立国語研究所共同利用型共同研究(研究経費支援型)申請書

②研究代表者研究業績表

③所属機関の長の承諾書(ただし、非常勤等で所属機関のない場合は不要です)

(3)申請期間

令和 8 年 8 月 3 日(月)～11 月 9 日(月)17 時(必着)

(4)申請書提出先(問い合わせ先)

人間文化研究機構 国立国語研究所 管理部研究推進課

TEL:042-540-4374 電子メール:suishinka@ninjal.ac.jp

11. 留意事項

(1)申請にあたっての留意事項

①所属機関長等の承認

申請書の提出に際しては、研究代表者は所属機関長等(所属する部局長等も含む)の承認を取ってください。研究代表者が博士後期課程学生の場合には、指導教員の承認を取ってください。

②共同研究者等の承諾

研究組織を構成し、共同研究者等が予定される場合は、本人の承諾を取ってください。

③コーディネータ

本共同利用型共同研究は、国語研が保有する研究資料等を利用しての研究であることから、資料等の状況により利用に制限があるものや、取扱いに習熟した者の協力が必要な場合があります。そのため、国語研の専任研究者(研究教育職員)がコーディネータとして参画します。コーディネータからは、各種の連絡・調整の他、研究のための助言を受けることができます。申請時にコーディネータとして希望する専任研究者(以下「コーディネータ候補者」とします)を申請書にご記入ください(申請書「8. 希望するコーディネータ」へ記入)。

申請者は、コーディネータ候補者にあたる国語研の専任研究者と十分に打合せを行い、申請書を作成してください。コーディネータ候補者をどのように選べばよいかわからない、又は連絡先が不明な場合には、問い合わせ先までお問い合わせください。

なお、国語研の都合によりコーディネータ候補者がコーディネータとならない場合や、研究の途中でコーディネータが変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

④国語研の公募事業に採択されたことがある場合

申請者が既に国語研の公募事業に採択されたことがある場合は、申請書作成時点の既採択課題の研究進捗状況と研究期間終了までに得られる見込みの研究成果について記入してください。

(2)研究を行う際の留意事項

採択後、研究を行う際には次のことについて遵守してください。

①研究倫理の遵守

学術研究は、国民の信頼とそれに基づいた国民からの負託によって支えられていることを十分認識し、研究において不正行為を行わないことを約束すること。

②人を対象とした研究における倫理審査

人を対象とした研究や個人に関する情報及びデータ等を収集する研究(調査)を実施す

る場合には、国立国語研究所研究倫理委員会の審査を経て、国立国語研究所長の承認を得ること。

③個人情報等の保護

個人情報、その他公にすることが予定されていない情報等の取扱いについては、法令、契約等に従い、自らの責任において適正に行うこと。

④関係法令等の遵守

自らの研究を遂行するにあたっては、関係法令等を遵守し、社会的に必要とされる措置を講じること。

⑤研究倫理教育の履修

研究を開始する年度中に文部科学省が指定する研究倫理教育教材(科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会、CITI Japan e-ラーニングプログラム等)の通読・履修または「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(平成 26 年 8 月 26 日:文部科学大臣決定)を踏まえ研究機関が実施する研究倫理教育を履修すること(所属する大学、研究機関等の指定する研究倫理教育の履修により代替可)。

※ 本共同利用型共同研究の研究遂行中に発生したいかなる損失や事故等に関しても、当該研究者の所属する機関等で対処するものとして、国語研では一切の責任を負いません。また、国語研では、災害補償制度は準備していないので、学生は、在籍する大学院において「学生教育研究災害傷害保険」等の保険に加入してください。

利用できる研究資料等

利用できる研究資料等を例示します。

○コーパス

- ・『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)有償版
- ・『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)有償版
- ・『日本語日常会話コーパス』(CEJC)有償版
- ・『日本語諸方言コーパス』(COJADS)有償版

有償版を含むコーパスについては「国語研コーパスポータル」(<https://clrd.ninjal.ac.jp/>)を参照してください。

○研究資料

- ・ 鶴岡調査資料(fo0005, fo0214, fo0217, fo0219)
- ・ 北海道調査資料(fo0001, fo0009)
- ・ 『日本言語地図(LAJ)』関係資料(fo0116, fo0117, fo0265)
- ・ 林大寄贈資料(fo0176)
- ・ 文化庁調査「各地方言収集緊急調査」の録音・文字化資料(fo0148)

国立国語研究所の研究資料室が所蔵する研究資料、研究データ、音声・映像は「国立国語研究所研究資料室収蔵資料」(<https://rmr.ninjal.ac.jp/>)で検索することができます。研究資料室の資料を利用する場合は、申請書に資料群 ID(fo+4桁数字)も記載してください。

○蔵書

- ・ 海外の言語地図コレクション
- ・ 尚書(古活字版第三種本)

国立国語研究所の研究図書室の蔵書は OPAC(<https://libgw.ninjal.ac.jp/drupal/>)で検索することができます。研究図書室の蔵書を利用する場合は、申請書に請求記号等も記載してください。

○実験機器

EMA、脳波計、眼球運動測定装置など、詳しくは次世代言語科学研究センターのサイト(<https://www2.ninjal.ac.jp/alsc/equipments/>)を参照してください。

なお、これまでの共同利用型共同研究の採択課題の利用資料等は、以下からご覧いただけます。

<https://www.ninjal.ac.jp/research/cr-project/project-4/#jupa>

<https://www.ninjal.ac.jp/research/cr-project/project-3/#jupa>